川俣町　橋梁長寿命化修繕計画

長滝橋

令和5年2月

福島県伊達郡川俣町

― 目 次 ―

Ⅰ.様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」における補助要件

		―国土交通省― インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
1.長寿命化修繕計画の目的	1	
2.長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1.対象施設
3.健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本方針 （・老朽化対策における基本方針） （・新技術等の活用方針）	6	2.計画期間
4.対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 （・費用の縮減に関する具体的な方針）	8	3.対策の優先順位の考え方 4.個別施設の状態等
5.対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 （・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度） （・対策内容・対策の着手、完了予定年度） （・対策に係る全体概算事業費）	18	5.対策内容と実施時期 6.対策費用
6.長寿命化修繕計画による効果	18	
7.計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	19	

Ⅱ.様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度及び対策内容・着手時期又は架替え時期

Ⅲ.優先順位一覧表

１．長寿命化修繕計画の目的

１）川俣町の現状

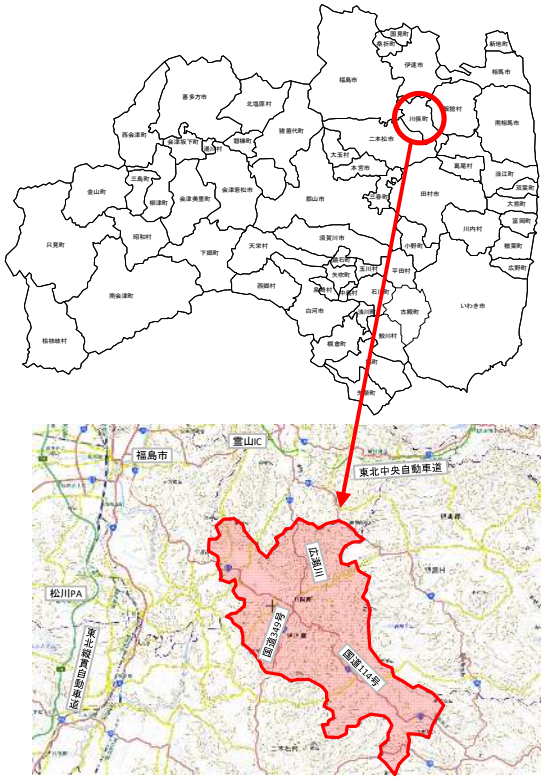
福島県伊達郡南部に位置する川俣町は阿武隈山地西斜面の丘陵地帯、福島市の東南およそ22kmにある人口11,410人、面積127.7平方km（令和5年1月1日現在）の町で、中心部を南北に流れる広瀬川や西側を南北に流れる女神川、南部を東西に流れる口太川の流域に集落や耕作地がまとまっています。

町の中心部の標高は200m程度であり、比較的温暖な気候で冬季の積雪も少ないですが、その他は山間をぬう傾斜地が多く、冬季にはマイナス15℃を下回る標高500mを超える高冷地帯にも集落や耕作地が点在しています。

町内には678路線、総延長323.8km(令和3年度現在)の町道が整備され、国道114号や349号・459号及び原町川俣線等の主要地方道4本を含む計6本の県道とともに、生活道路のネットワークを形成しています。平成30年3月には東北中央自動車道の霊山インターチェンジが整備されたことにより、高速道路へのアクセスも充実されました。

町道に架かる橋梁の147橋は町内全域に架けられていますが、5m未満の小規模橋梁が全体の約3割を占めているのが特徴となっています。橋長30m以上の橋梁の多くは町の中心部を流れる広瀬川にかかっています。

福島県内市町村位置図



２）背景

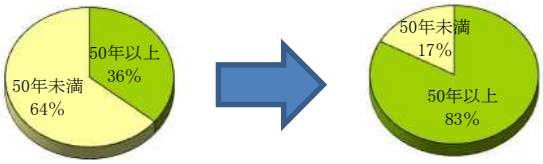
川俣町の管理する橋梁の147橋は、2022年時点で建設後50年を経過する橋梁は全体の約37%ですが、10年後の2032年には66%、20年後の2042年には83%程度に急激に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

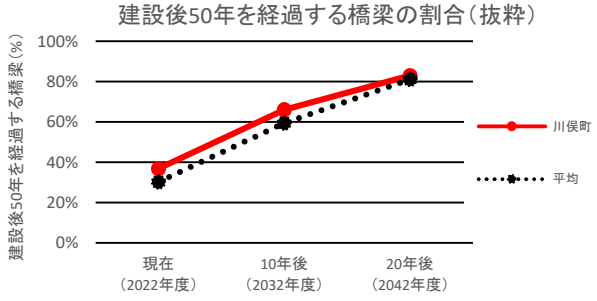
近隣町村との比較

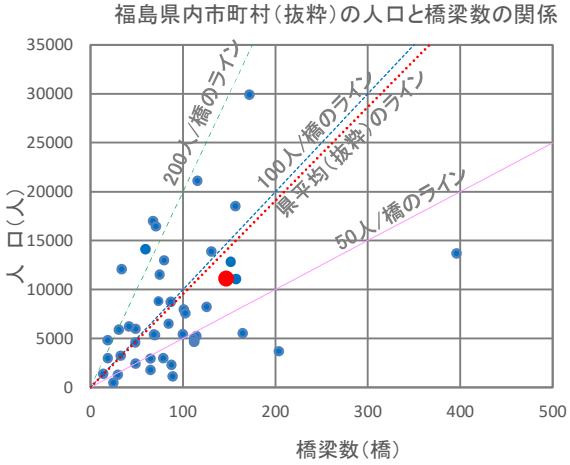
町村名	面 積（㎢）	人 口（人）	人口密度（人/㎢）	橋梁数（橋）	橋梁の密度（橋/㎢）	一橋当りの人口（人/橋）
川俣町	127.70	11108	86.985	147	1.1511	75.565
桑折町	42.97	11050	257.16	158	3.677	69.937
国見町	37.95	8203	216.15	126	3.3202	65.103
飯舘村	230.13	4660	20.249	112	0.4867	41.607

人口は2022年現在



2022年度　　2042年度



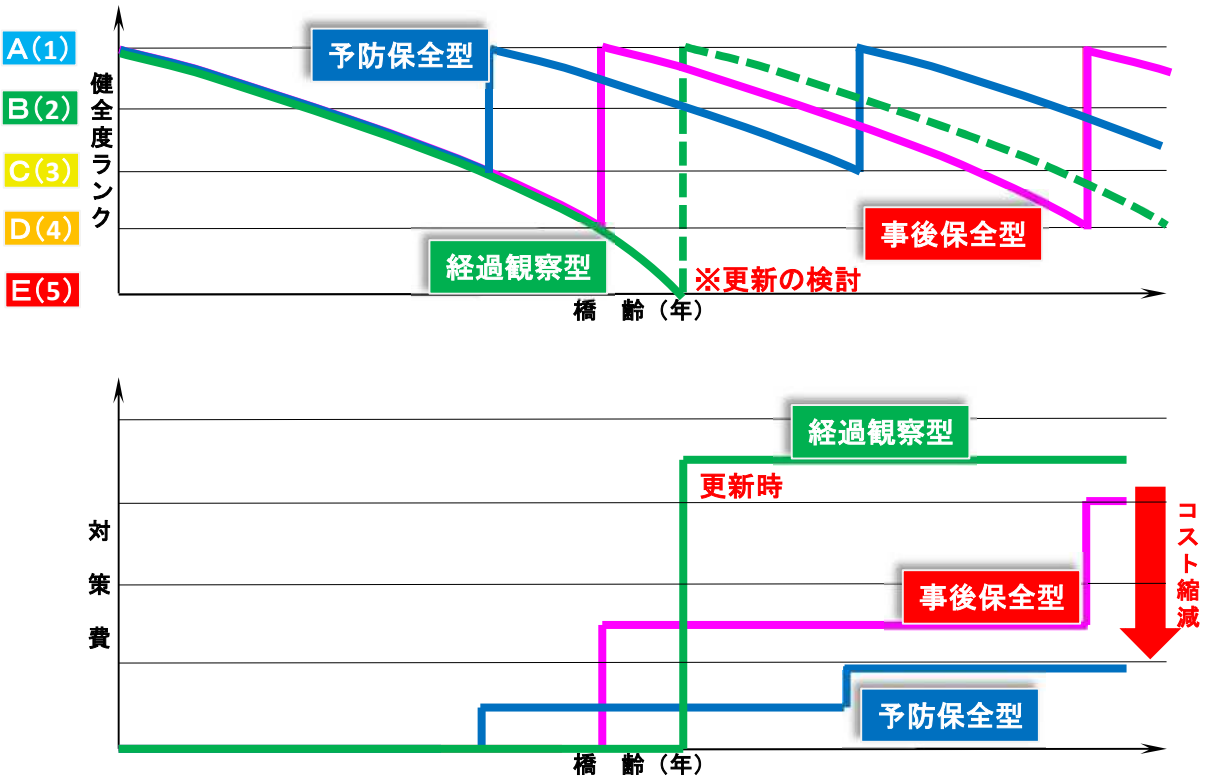


３）目的

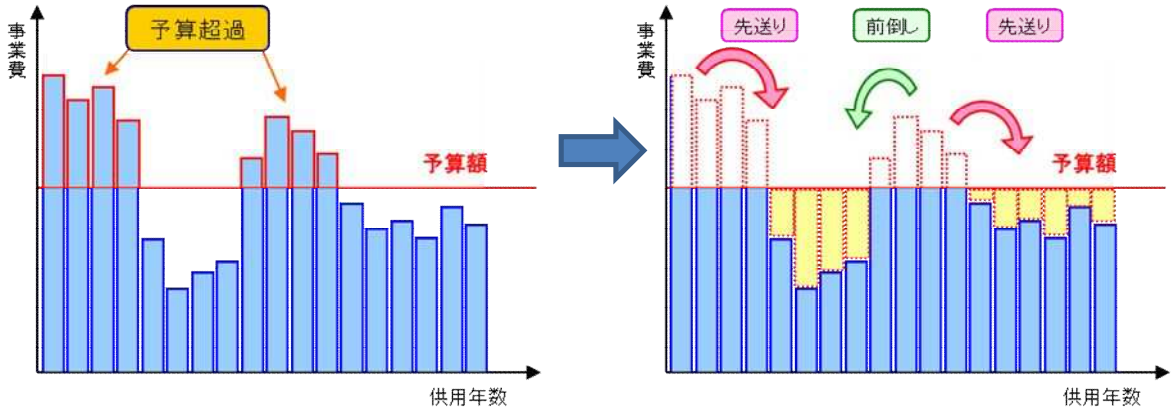
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで川俣町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

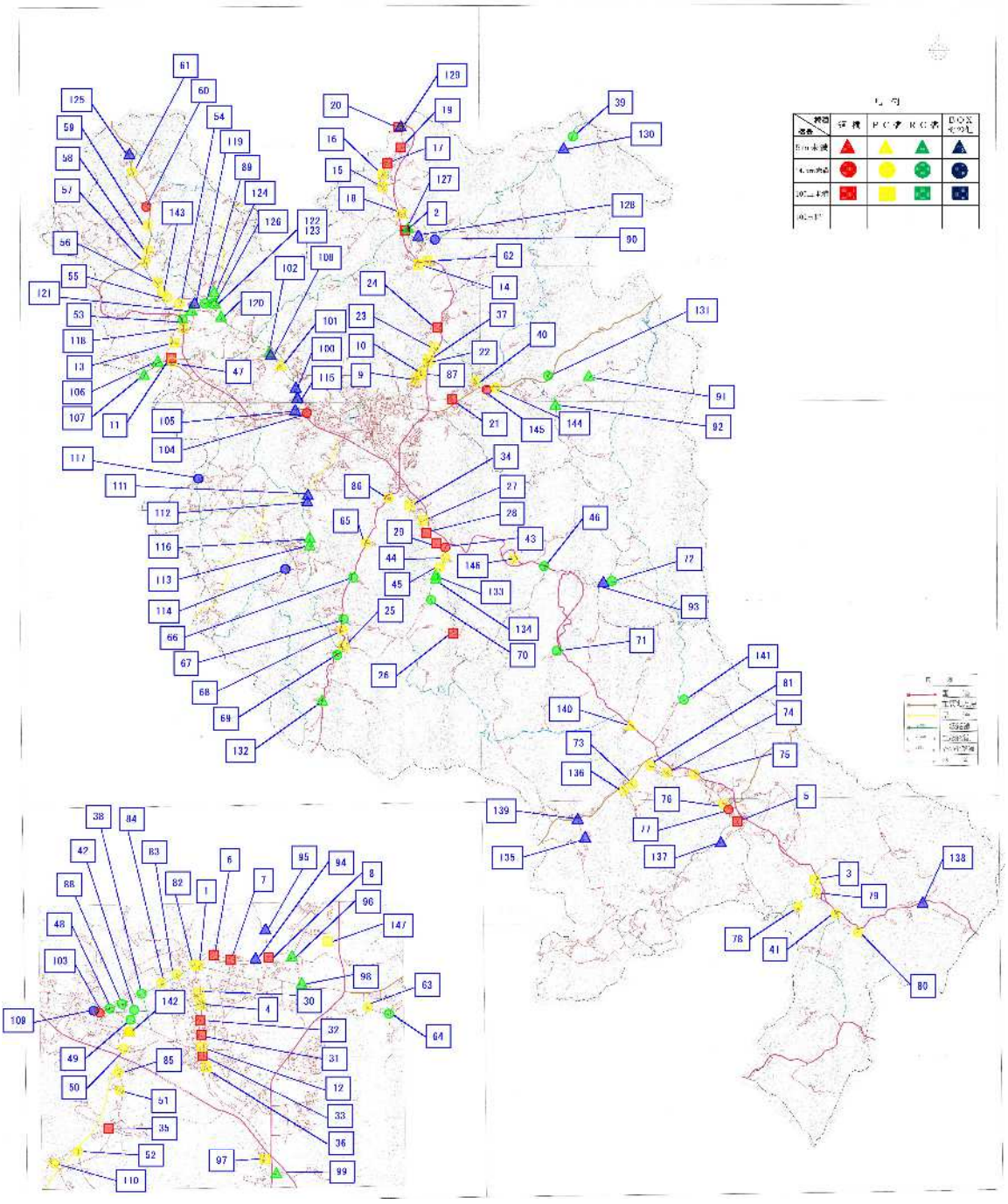


予算平準化のイメージ

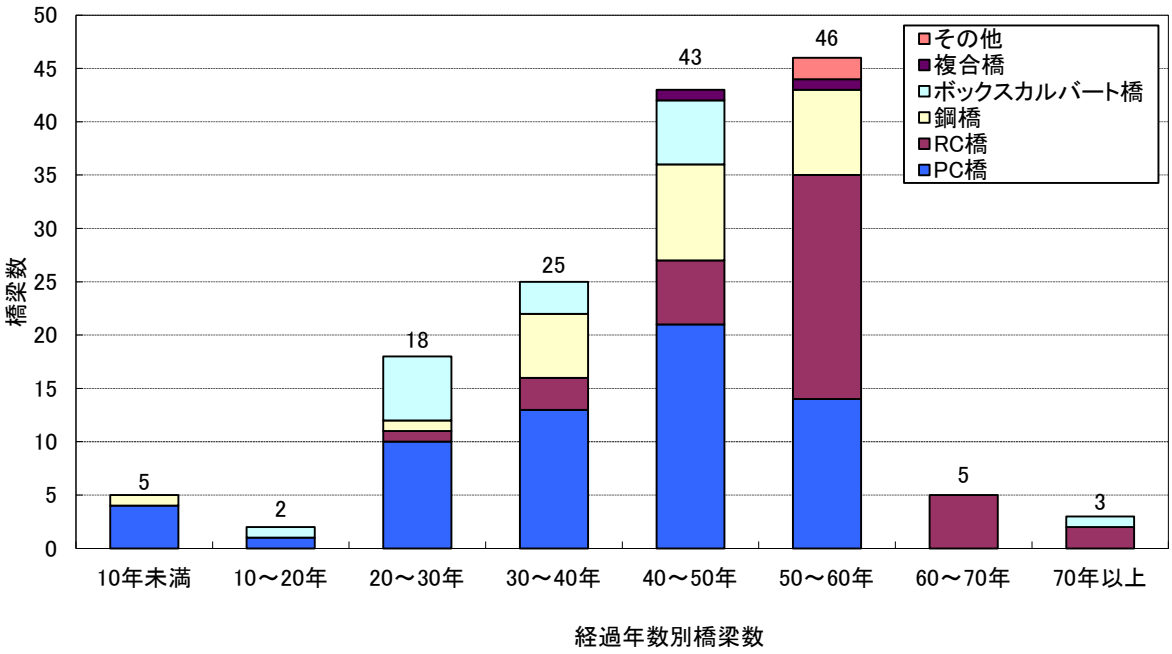
２．長寿命化修繕計画の対象橋梁
（対象施設）

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	8	10	129	147
うち計画の対象橋梁数	8	10	129	147
うちこれまでの計画策定橋梁数	8	10	128	146
うち2022年度計画策定・更新橋梁数	8	10	129	147

※長寿命化修繕計画の対象：川俣町が管理する橋長2.0m以上の橋梁147橋を対象とします。
（内、145橋：前回策定時からの更新　2橋：新規策定）（1橋対象外）

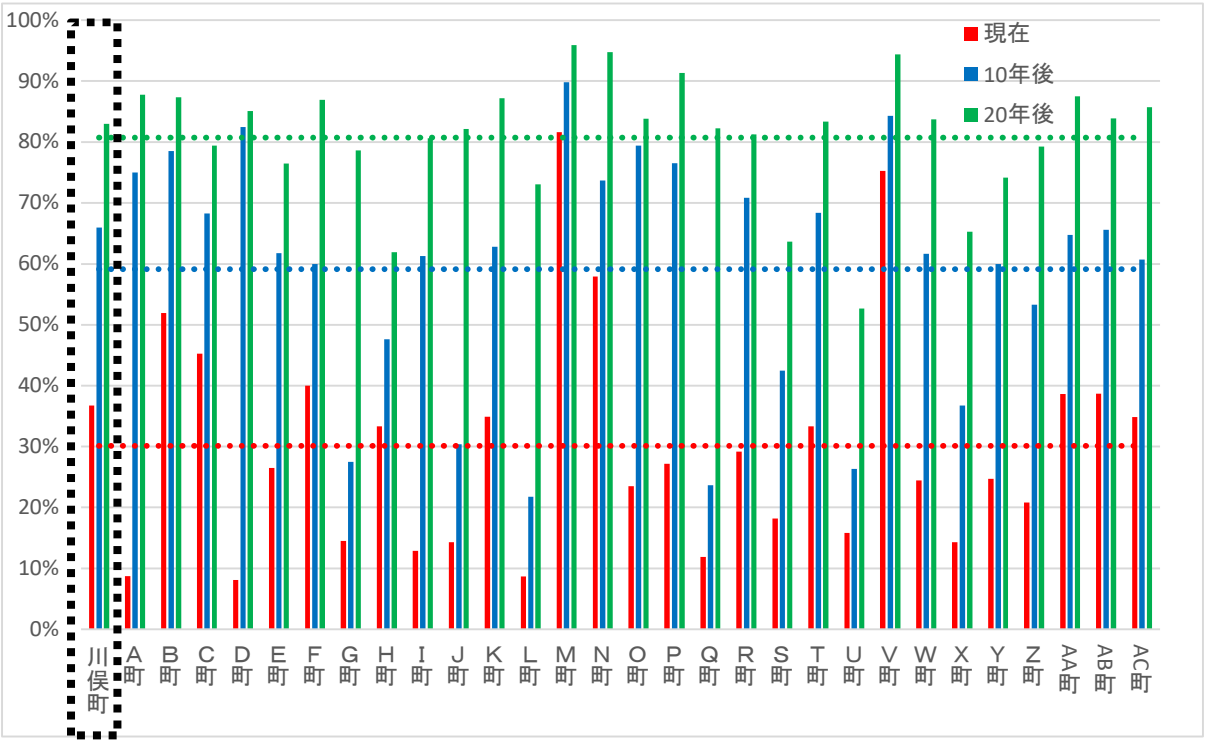


経過年数別橋梁数



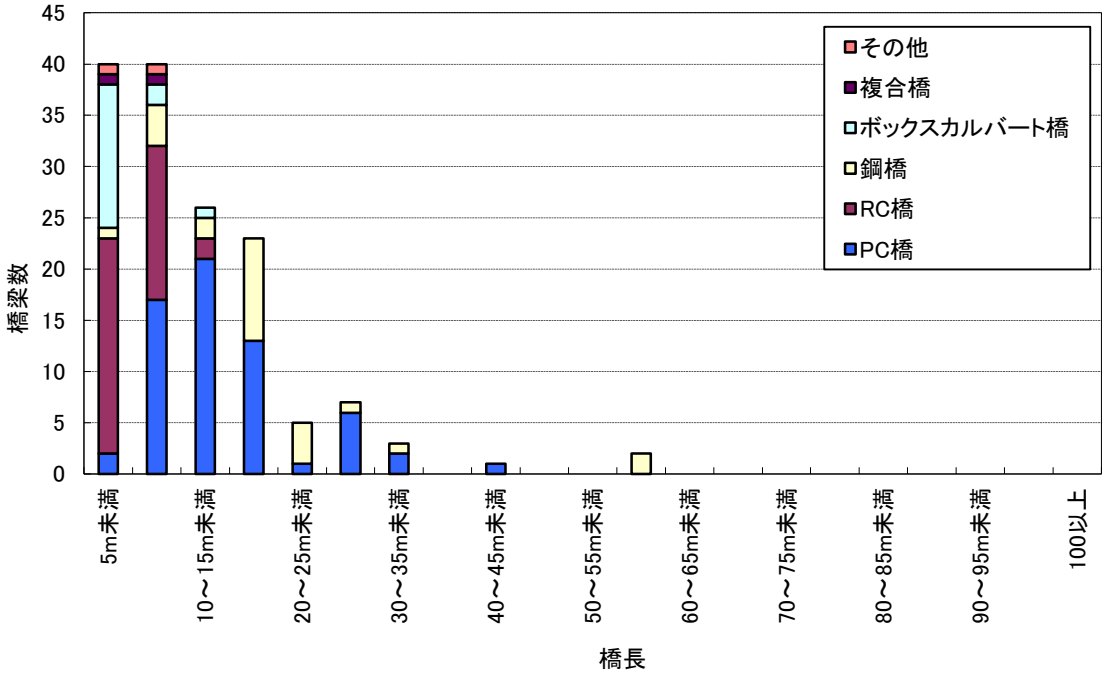
※長寿命化修繕計画で対象としている147橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は54橋あり、全体の36%を占めています。54橋のうち、3橋は建設後70年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



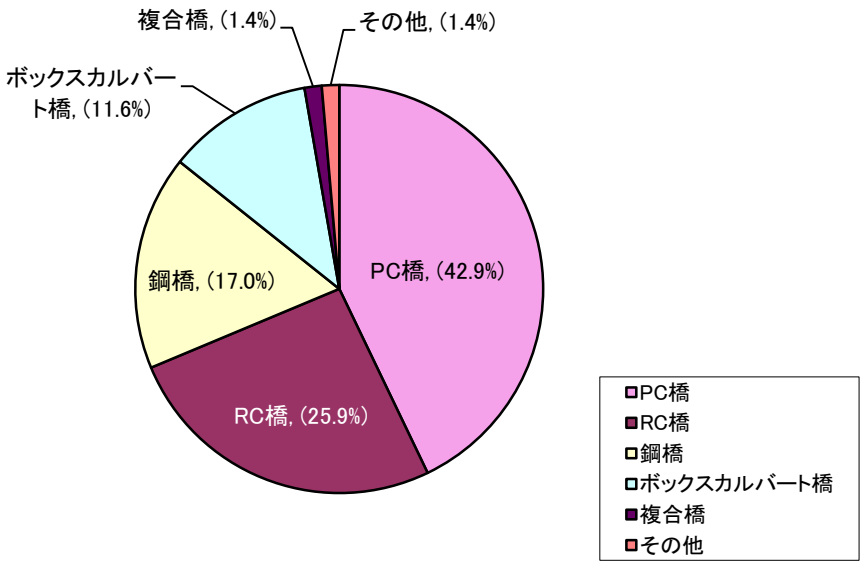
※点線：県内市町村の平均値
現在（30%） 10年後（59%） 20年後（81%）

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている147橋のうち、15ｍ未満の橋梁が106橋あり全体の72%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではＰＣ橋が64橋で全体の約43％を占めています。複合橋はＰＣ床版+ＲＣ床版及びＲＣ床版+ボックスカルバートがそれぞれ1橋、その他は木橋が2橋です。

３．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
（計画期間）

１）健全度の把握の基本的な方針

（・老朽化対策における基本方針）

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成３１年２月）に基づいて、専門技術者による５年に１回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

（・新技術等の活用方針）

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（ＮＥＴＩＳ）や点検支援技術性能カタログなどを参考に新技術の活用を検討し、有用な新技術を採用して点検費用の縮減や作業の効率化に努めていきます。特に2巡目点検において、損傷が軽微で判定区分が「Ⅰ」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁19橋については、令和9年度までの3巡目点検ではAI診断等の活用を検討し、1橋当たり7万円程度の点検費用の縮減（19橋で約130万円の減）や、とりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、橋長15m以上の橋梁1橋程度について、ドローンやデジタルカメラ等の画像解析技術の活用を検討していきます。

ドローンによる桁下の点検

デジタルカメラによる溝橋の点検

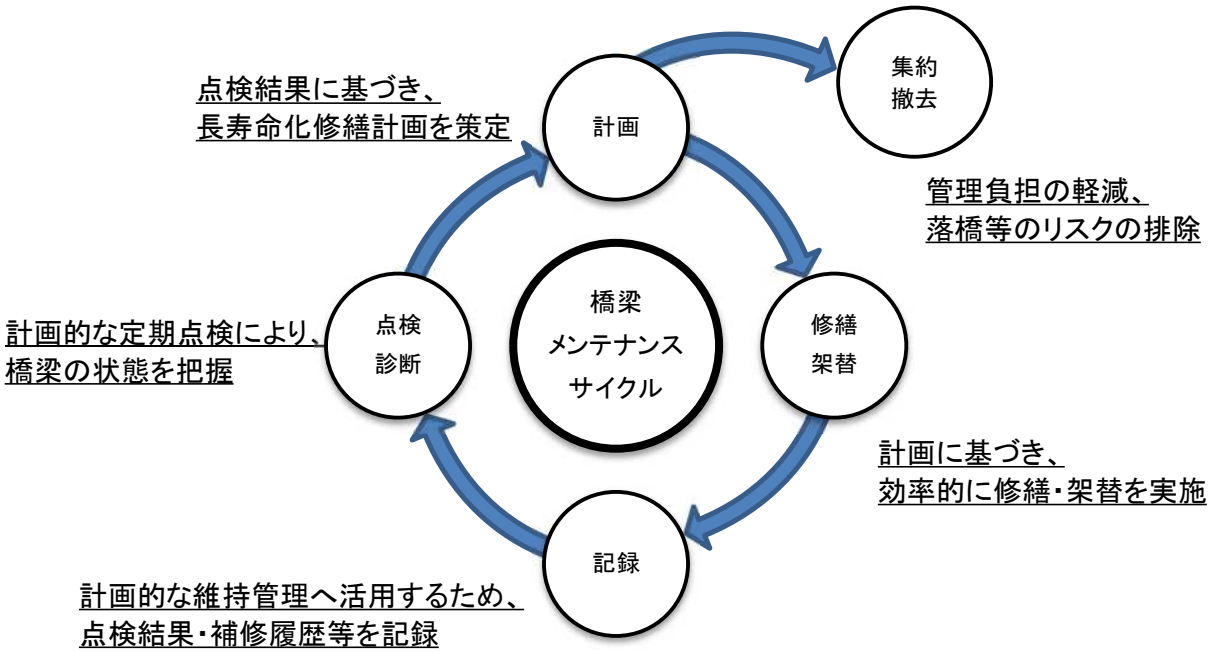
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

２）日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル　概念図



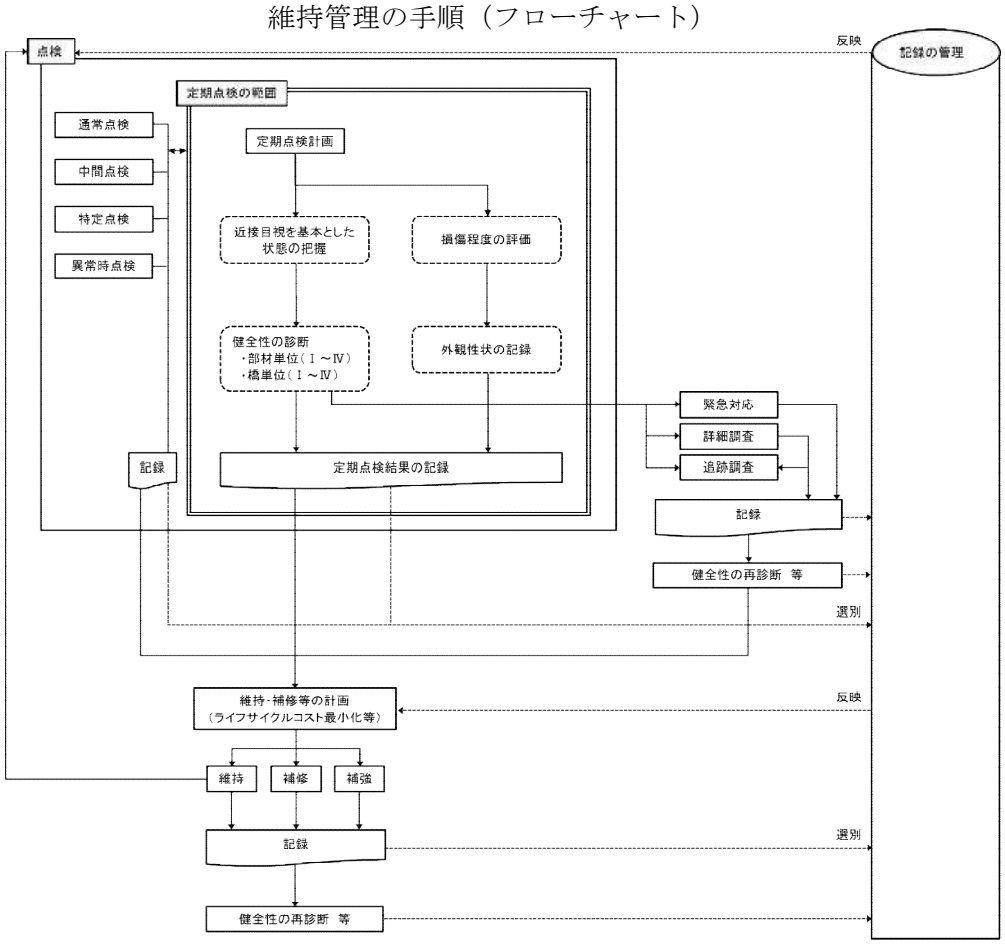
３）計画期間

５年に１回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後５０年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：２０２３年～２０７２年）

３．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省　道路局　国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

４．対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
（対策の優先順位の考え方）

川俣町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の83%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100 年とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

１）管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分		該当橋梁	補修時期	寿　命	点検方法		簡易予防保全	
					日常巡回 ※2	橋梁点検（1回／5年）※3	橋面洗浄	桁洗浄
S	本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度（※1）該当3つ	健全度ランクD（4）にしない	原則架替えは行わない	○	○	②※4	②
A	予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD（4）にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型	重要度該当0または1つ	健全度ランクE（5）にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE（5）になるまで	耐用年数まで	○	○		
備　考		※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定	※2「日常巡回」は，排水桝の清掃及び沓座面の堆積土砂除去を実施（費用は計上せず） ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全費用を橋梁ごとに計上する ②：2年に1回 ⑤：5年に1回	

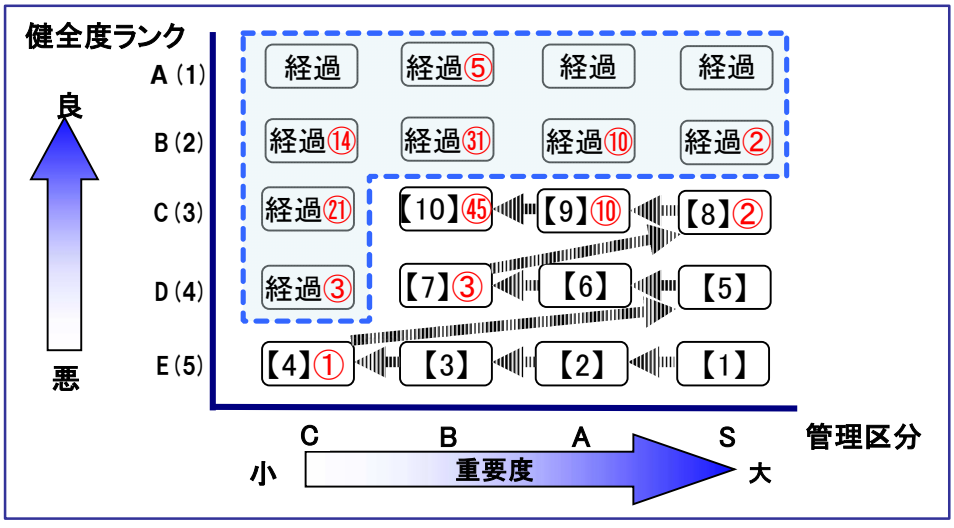
（・費用の縮減に関する具体的な方針）

川俣町の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

※検討する橋梁：問屋前橋（判定区分「Ⅳ」）
梅ノ木平橋、小長石橋（木橋、判定区分「Ⅲ」）
北古堂道内・南古堂道内2号線1号橋（判定区分「Ⅲ」）
（点検費約2%縮減）

２）優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



※丸囲み数字は、該当橋梁数

３）橋梁毎の点検結果（個別施設の状態等）

３－１）定期点検結果

川俣町は平成２８年度及び平成２９年度に近接目視による１巡目の定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年度から令和４年度までに２巡目の定期点検を実施しました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。
（判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上）

番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度ランク(前回)	健全度区分(前回)	前回点検年次	健全度ランク	健全度区分	最新点検年次	適用
0077	問屋前橋	13.60	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	主桁、床版	E(5)	Ⅳ	H28	E(5)	Ⅳ	R2	腐食、防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ
0065	岩倉橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1970	53	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅲ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0053	御輪橋	10.10	1	RC橋	RC　T桁	5.50	1938	85	主桁	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R1	剥離・鉄筋露出
0147	泡吹地橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	3.70	1965	58	主桁	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	剥離・鉄筋露出
0001	大平橋	17.10	1	PC橋	プレテン床版	5.35	1979	44	床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0041	行合道橋	9.50	1	PC橋	プレテン床版	4.50	1972	51	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	変形・欠損、漏水・遊離石灰、ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0090	道平橋	5.14	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.40	1980	43	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0012	広瀬橋	16.70	1	PC橋	プレテンT桁	6.50	1989	34	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	変形・欠損、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0019	南平橋	56.20	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1971	52	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ
0048	鶴沢橋	5.40	1	RC橋	RC　中実床版	6.60	1960	63	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出、うき、その他
0026	長滝橋	57.50	1	鋼溶接橋	トラス橋	7.00	2002	21	床版、横桁、横構、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	土砂詰まり、漏水・遊離石灰、うき、その他
0044	出付橋	11.90	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1980	43	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0002	大橋	20.60	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1969	54	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化
0092	峨篭橋	3.60	1	RC橋	RC　中実床版	4.90	1980	43	下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0091	空窪橋	4.70	1	RC橋	RC　中実床版	4.30	1983	40	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0042	樋ノ口橋	6.50	1	RC橋	RC　中実床版	4.80	1960	63	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、変形・欠損
0021	楓橋	15.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	5.00	1965	58	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	遊間の異常、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0087	眼鏡橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1974	49	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0132	堀坂橋	5.10	1	PC橋	その他(PC橋)	7.40	1965	58	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、腐食、防食機能の劣化、変形・欠損
0017	壁屋橋	32.30	2	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0078	沼の入橋	9.50	1	PC橋	プレテン床版	3.20	1970	53	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、ひびわれ、うき、変形・欠損
0020	成沢橋	26.60	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1977	46	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、その他、床版ひびわれ
0080	木の合木橋	7.50	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1978	45	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0024	滝沢橋	22.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1977	46	主桁、横桁、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0011	羽田橋	21.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	6.00	1968	55	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0027	梅の口橋	16.20	1	PC橋	プレテン中空床版	3.00	1977	46	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0029	仲田橋	16.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1972	51	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、遊間の異常、ひびわれ
0028	道耕地橋	18.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1974	49	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0035	鞭戸内橋	22.70	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.50	1992	31	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	遊間の異常、ひびわれ
0079	菅向橋	8.40	1	PC橋	プレテン床版	3.10	1970	53	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	その他、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0084	五百田橋	7.00	1	PC橋	プレテン床版	4.10	1970	53	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0086	広畑橋	12.60	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1970	53	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、変形・欠損
0050	柏崎橋	7.30	1	PC橋	PC桁橋(その他)	0.00	1970	53	横桁、床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	定着部の異常、漏水・遊離石灰、その他
0105	下中島1号橋	6.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	1.98	1973	50	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0075	赤坂橋	12.10	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1975	48	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0009	七窪橋	25.80	1	PC橋	ポステン中空床版	4.00	1997	26	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0051	熊の宮橋	8.40	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1976	47	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0016	橋本橋	32.60	2	PC橋	プレテンT桁	3.00	1977	46	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、定着部の異常
0060	百目木橋	7.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1978	45	床版	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0033	両国橋	16.80	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1989	34	下部工	B(2)	Ⅰ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	変形・欠損
0015	池ノ入橋	32.50	2	PC橋	プレテンT桁	4.00	1977	46	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出、ひびわれ
0069	前平橋	7.50	1	RC橋	RC　中実床版	3.60	1970	53	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0107	仲ノ内橋	3.50	1	RC橋	RC　中実床版	8.00	1972	51	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、変形・欠損、その他
0068	南橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1973	50	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0073	木ノ根橋	6.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1970	53	下部工	A(1)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰、沈下・移動・傾斜
0082	昌平橋	8.70	1	PC橋	プレテン床版	2.50	1979	44	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0014	房又橋	29.00	2	PC橋	プレテンT桁	3.00	1976	47	主桁、横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出、変形・欠損、定着部の異常、ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき
0108	舘ノ内橋	2.00	1	RC橋	RC　中実床版	5.55	1970	53	下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	変形・欠損
0100	新湯橋	3.00	1	RC橋	RC　中実床版	3.40	1975	48	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	変形・欠損
0036	旭橋	19.30	1	PC橋	プレテンT桁	7.00	2000	23	下部工	B(2)	Ⅰ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ

３－１）定期点検結果

番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度ランク(前回)	健全度区分(前回)	前回点検年次	健全度ランク	健全度区分	最新点検年次	適用
0104	京田橋	6.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.06	1972	51	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0119	鶴巻橋	10.90	1	PC橋	その他(PC橋)	1.76	1993	30	床版	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	腐食、防食機能の劣化、変形・欠損(一部補修済)
0023	落合橋	29.60	1	PC橋	ポステン中空床版	4.00	1993	30	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0111	西田橋	5.70	1	PC橋	その他(PC橋)	1.80	1978	45	横桁、床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	定着部の異常、漏水・遊離石灰
0064	下谷沢橋	6.80	1	RC橋	RC　中実床版	4.00	1961	62	下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0071	マミガ沢橋	6.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	4.10	1994	29	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	うき
0006	大日堂橋	18.80	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1983	40	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化
0142	細畑東山橋	6.20	1	RC橋	RC　中実床版	4.05	1970	53	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0047	平橋	7.40	1	PC橋	PC桁橋(その他)	3.00	1983	40	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化
0081	社前橋	7.80	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1997	26	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0146	老古堂道内+雨古堂道内2号線1号橋	9.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	4.00	1991	32	主桁、横桁	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	腐食、防食機能の劣化
0115	梅ノ木平橋	5.50	1	木橋	その他(木橋)	2.00	1963	60	横桁、床版	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	腐食、防食機能の劣化、破断
0126	小長石橋	2.80	1	木橋	その他(木橋)	3.40	1963	60	主桁、下部工	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	腐食、防食機能の劣化、沈下・移動・傾斜、洗堀
0112	才ノ神橋	4.03	2	RC橋	RC　中実床版	4.50	1980	43	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0133	狙板倉橋	2.90	1	RC橋	RC　中実床版	2.10	1965	58	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	剥離・鉄筋露出
0106	下中島2号橋	4.97	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.50	1975	48	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、うき、その他、変形・欠損
0114	光内橋	3.55	1	RC橋	RC　中実床版	2.50	1975	48	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、変形・欠損、沈下・移動・傾斜、洗堀(一部補修済)
0140	戸草前橋	2.32	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.00	1994	29	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ、変形・欠損
0128	岩阿久橋	4.30	1	RC橋	RC　中実床版	6.00	1965	58	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	剥離・鉄筋露出、変形・欠損、漏水・遊離石灰
0099	後庵橋	3.10	1	RC橋	RC　中実床版	7.30	1965	58	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、変形・欠損
0125	広越橋	4.00	1	RC橋	RC　中実床版	5.00	1970	53	床版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0095	石川橋	3.26	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.80	1980	43	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出
0109	山王橋	2.32	1	RC橋	RC床版橋(その他)	10.55	1985	38	下部工(側壁)	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰、うき
0129	寺前橋	2.53	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1993	30	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0136	由口橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.20	1996	27	頂版	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	その他
0123	塚ノ越橋	2.50	1	RC橋	RC　中実床版	3.50	1965	58	下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	変形・欠損
0134	森ノ腰橋	3.90	1	RC橋	RC　中実床版	3.60	1970	53	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0135	桑保橋	3.90	1	RC橋	RC　中実床版	3.60	1970	53	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0117	杉ノ内橋	3.70	1	RC橋	RC　中実床版	3.65	1972	51	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	洗堀
0138	津山橋	2.72	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.00	1998	25	側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	漏水・遊離石灰
0141	大黒前橋	4.55	1	RC橋	RC桁橋(その他)	4.10	1975	48	下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	その他
0102	柳地内橋	2.80	1	PC橋	PC桁橋(その他)	4.50	1977	46	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0110	京田2号橋	5.60	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.20	1977	46	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	腐食、防食機能の劣化
0103	壱貫田橋	2.30	1	RC橋	RC　中実床版	5.17	1985	38	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	変形・欠損

区分		状　態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

健全度ランク	判定区分	備　考	該当橋梁数	割　合
A(1)	健全	損傷が認められない	5橋	3%
B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	57橋	39%
C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	78橋	53%
D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	6橋	4%
E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	1橋	1%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

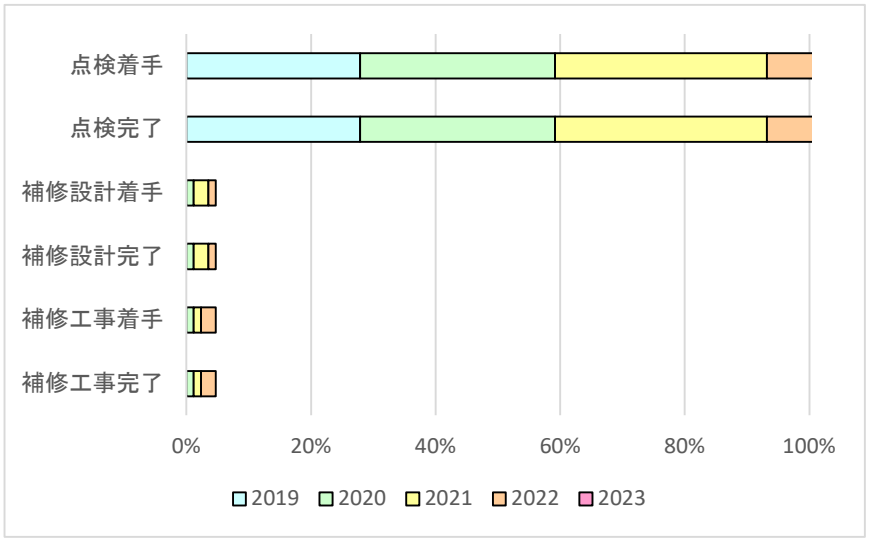
３－２）主要部材の損傷写真　判定区分「Ⅲ」健全度「D（4）」以上の橋梁（抜粋）

077. 問屋前橋：鋼H桁橋
（橋長：13.60m、1970年竣功）
主桁の腐食、床版下面の鉄筋の腐食
※主桁端部の板厚減少及び床版下面の露出鉄筋の断面減少により耐荷力が低下している。（通行止め規制中）

065. 岩倉橋：プレテン床版
（橋長：11.40m、1970年竣功）
橋台前面の二方向ひびわれ
※前回より明らかに進行しており、内部鉄筋の腐食へと進展する可能性が高い。
（迂回路無し）

053. 御輪橋：RCT桁橋
（橋長：10.10m、1938年竣功）
主桁端部の鉄筋露出・うき
※雨水の浸入により、内部鉄筋の腐食が進行する可能性が高い。（迂回路有り）

147. 泡吹地橋：プレテン床版
（橋長：11.40m、1965年竣功）
主桁下面のPC鋼材の露出
※露出鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下に影響する。（迂回路有り）



橋梁メンテナンス事業　着手状況（定期点検2巡目）

３－３）橋梁の補修状況

川俣町は、定期点検結果より早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」及び予防保全対策が必要な判定区分「Ⅱ」と診断された橋梁のうち、9橋について、橋梁の延命化を図ると共に、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、平成27年度及び平成29・30年度、令和2年度～令和4年度に、それぞれ変状の詳細調査及び補修設計を実施しました。

また、補修設計を実施した5橋を含む計7橋について、平成30年度及び令和元年度～令和4年度にそれぞれ補修工事を実施しています。

対象橋梁は、以下のとおりです。

●対策事例

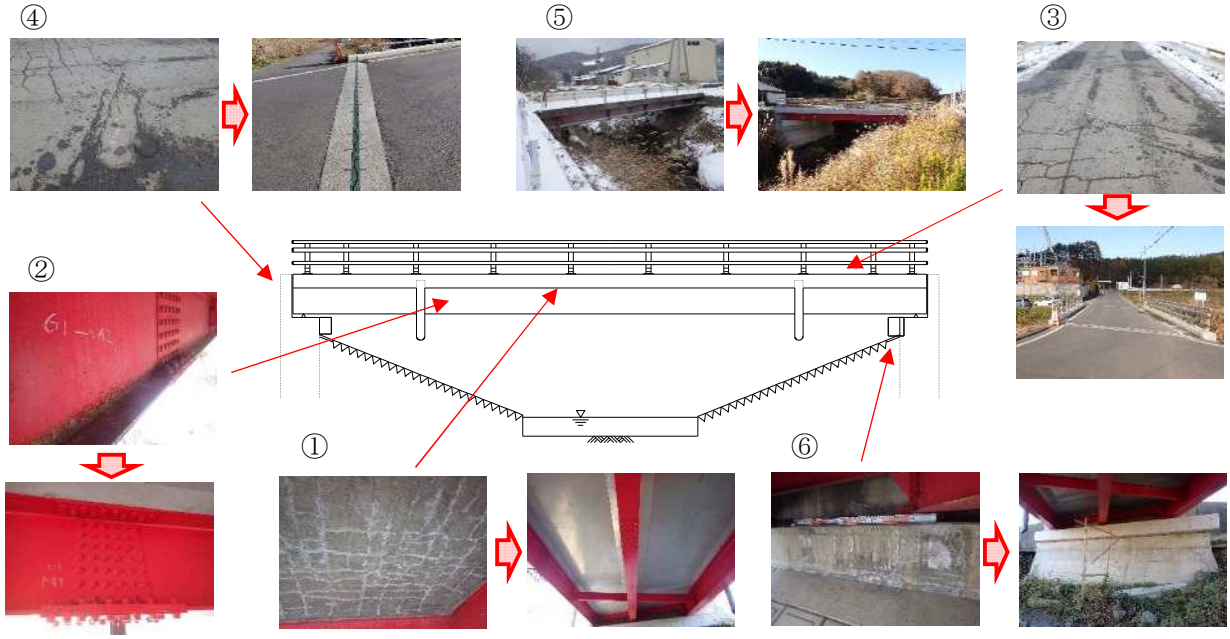
・地切橋（平成30年度補修設計、令和2年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）

★補修工法　※「N」：NETIS登録技術採用

・上部工補修工（床版取替工）・・・①
　〃　（現場塗装工「N」）・・②
　〃　（支承防錆工「N」）
・橋面防水工（防水層設置工）
・橋面舗装工（アスファルト舗装工）・・③
・伸縮継手工（伸縮装置設置工）・・・④
・排水工（排水管設置工）
・防護柵設置工（防護柵設置工）・・・⑤
・沓座モルタル補修工（取壊し工、打設工）
・縁端拡幅工・・・⑥
・舗装摺り付け工
・橋台部地覆取替工

地切橋全景

左：補修前　　右：補修後



補修箇所（抜粋）

●実施箇所

・畝歩内橋（平成29年度補修設計、平成30年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
・菅ノ又橋（平成29年度補修設計、令和元年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
・若松橋（平成30年度補修設計、令和3年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
・赤坂橋（令和2年度補修設計、令和4年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
・南平橋（平成27・29度補修設計済）　・岩倉橋、御輪橋（令和3年度補修設計済）
・泡吹地橋（令和4年度補修設計済）　・光内橋（令和2年度一部補修工事済）
・鶴巻橋（令和4年度一部補修工事済）

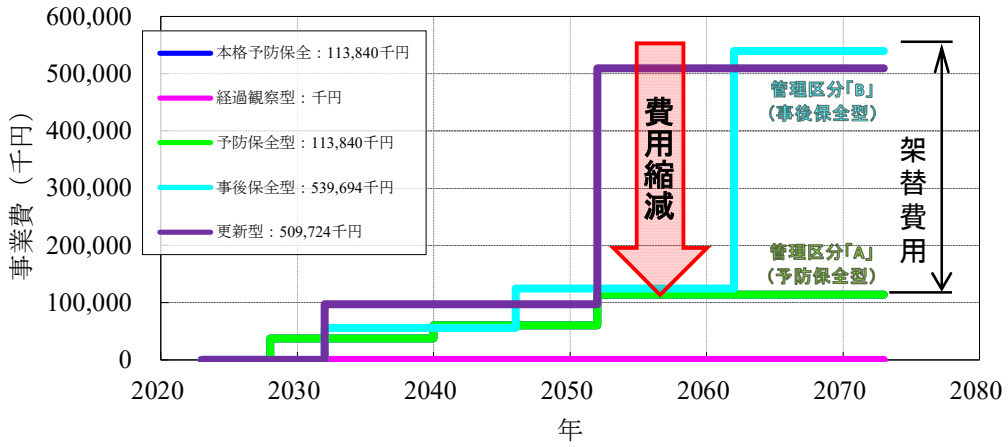
４）修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

南平橋及び長滝橋の2橋は橋長が50m以上の橋梁ですが、重要度に該当する項目が無しまたは1つであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。

事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、下表に示す対象橋の例では架け替えのため2062年に費用が増大します。これを寿命設定が100年の管理区分「A」（予防保全型）に変更し対策を行っていくことで、管理費用の縮減が図られ、現実的な町の予算に近づけることが可能となります。

長滝橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



問屋前橋は、主桁端部の著しい板厚減少や、床版下面の広範囲な露出鉄筋の腐食等により、健全性の診断を「Ⅳ」（健全度ランク「E」・管理区分「B」）とした橋梁です。本橋は、国道114号側から渡河した先の町道は未舗装区間且つ道幅も狭いため、利用者は限定的であり、また、迂回路となる町道があることから、補修等を実施しない経過観察型「C」に区分を変更し、通行止め措置を継続すると共に、橋の集約化・撤去も視野に入れ、対策を検討していきます。

左：全景（起点側）

右：全景（右側）

損傷状況

左：主桁腐食状況　　右：支承腐食状況

位置図

梅ノ木平橋及び小長石橋は、主桁等の著しい腐朽や石積橋台の崩落により健全性の診断を「Ⅲ」（健全度ランク「D」）とした木橋ですが、周囲の道路状況より利用者は限定的であることが推定されるため、補修等を実施しない経過観察型「C」とし、補修費等の縮減を図っていきます。今後は、定期的な監視を実施していくと共に、橋の集約化・撤去も視野に入れ、対策を検討していきます。

位置図

左：全景写真（側面）　右：損傷代表写真

北古堂道内・南古堂道内2号線1号橋は、桁端部の板厚減少により健全性の診断を「Ⅲ」（健全度ランク「D」・管理区分「B」）とした橋梁です。本橋は、旧飯坂小学校新校舎建設時に架橋された仮橋と推定され、新校舎建設後は、小学校の通学路や民家への進入路として利用されていたと推測されますが、令和4年3月に小学校が閉校となった現在、利用者は限定的となり、また、本橋の上流側に豪雨災害により被災し、その後架け替えとなった橋梁があり、迂回路が確保されていることから、補修等を実施しない経過観察型「C」に区分を変更し、費用の縮減を図ると共に、定期点検3巡目（令和9年度実施予定）の結果を踏まえて、橋の集約化・撤去も視野に入れ、対策を検討していきます。

左：全景（起点側）　右：全景（左側）

損傷状況

左：主桁腐食状況　　右：横桁腐食状況

位置図

中山橋は、当該区間の町道が県道に昇格となったことにより、県管理の橋梁となることから、補修等を実施しない経過観察型「C」に区分を変更し、費用の縮減を図ることとしました。なお、町では、これまで定期点検2巡目（令和2年度実施済）及び本計画策定までを行って来ましたが、定期点検3巡目（令和5年度）以降の事業については、県が実施する予定です。

位置図

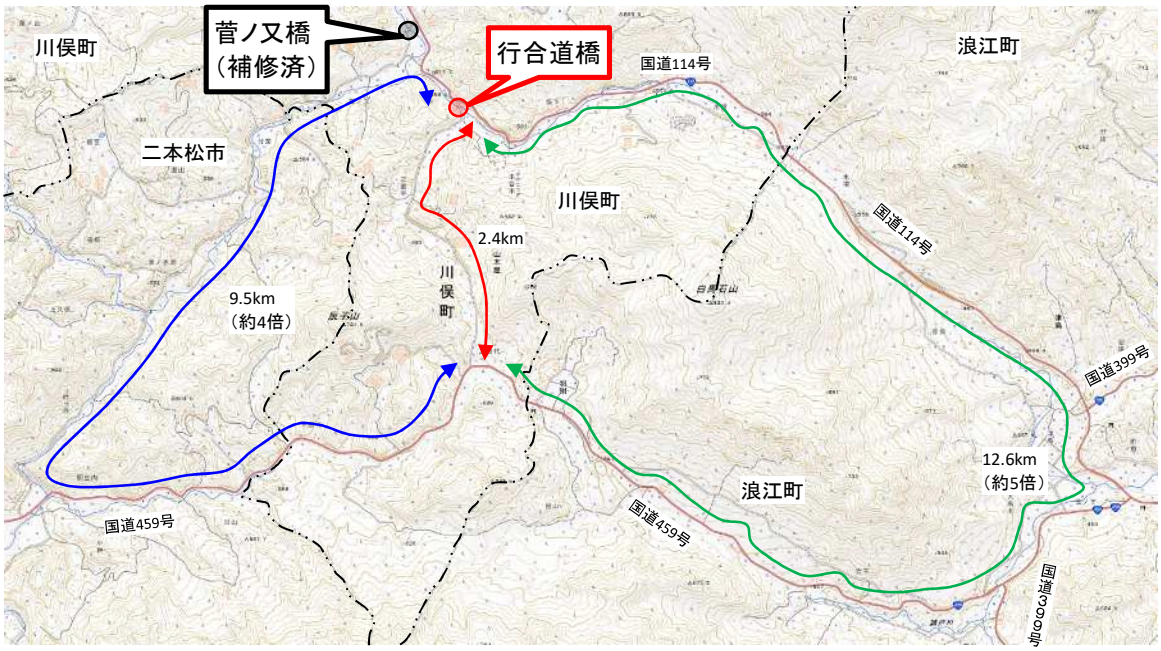
岩倉橋は、橋台前面の著しいひびわれにより健全性の診断を「Ⅲ」（健全度ランク「D」）とした橋梁ですが、車両通行可能な迂回路がなく、集落が孤立する可能性があり、重要度は高いと推定されることから順位を修正しました。なお、令和5年度に補修工事を予定しています。（4位→2位）

左：全景（起点側）　右：全景（右側）

損傷状況（A2橋台ひびわれ）

位置図

行合道橋は、国道114号と国道459号を結ぶ1級町道に架かっており、本路線が町指定の緊急輸送路に指定されている外、本橋が使用不可能となった場合、迂回路が非常に遠くなるため、重要度は高いと推定されることから、順位を健全度ランク「C」の最上位に修正しました。（9位→6位）



位置図

橋梁全景（起点側）

橋梁全景（左側）

損傷状況
（床版遊離石灰）

損傷状況（橋台欠損）

楓橋が架かる町道は、川俣高校への通学路であり、車両通行可能な迂回路がないため、順位を健全度ランク「C」・管理区分「B」の最上位に修正しました。（19位→17位）

左：全景（起点側）

右：全景（右側）

損傷状況（床版ひびわれ、遊離石灰）

位置図

才ノ神橋は、車両通行可能な迂回路がなく、集落が孤立する可能性があることから、順位を順位を健全度ランク「C」・管理区分「C」の最上位に修正しました。（83位→65位）

左：全景（起点側）　右：全景（左側）

損傷状況（橋台遊離石灰）

位置図

５）全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

５．対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5.対策内容と実施時期）
（・構造物の諸元、・直近の点検結果及び次回点検年度、・対策内容、・対策の着手、完了予定年度）
様式１－２による

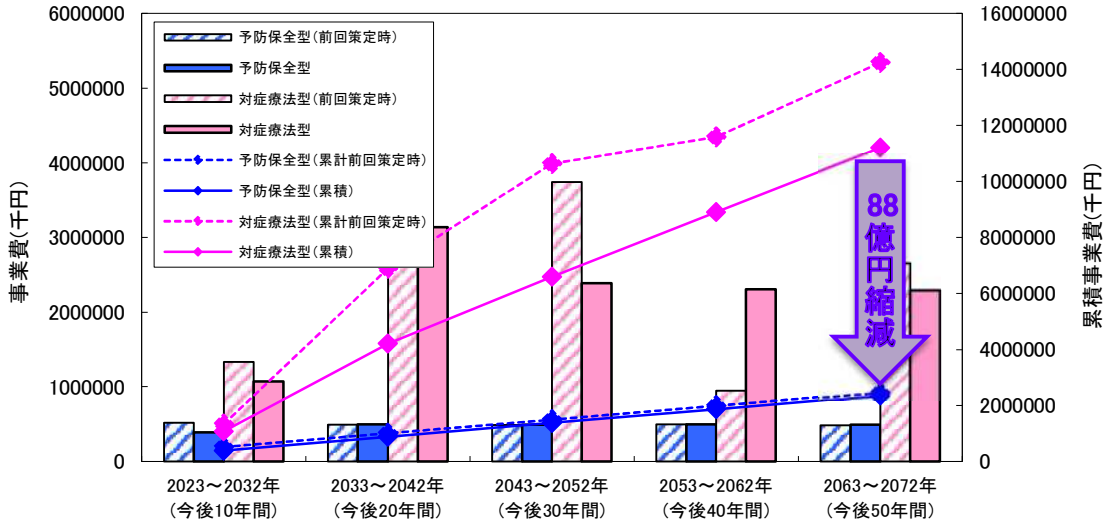
※補修工法の選定にあたっては、ＮＥＴＩＳ等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。
●活用促進技術に指定されている新技術の例
鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
伸縮装置：（登録番号）

（6.対策費用の概算（・対策に係る全体概算事業費）は、様式１－２、各橋梁の長寿命化修繕計画による）

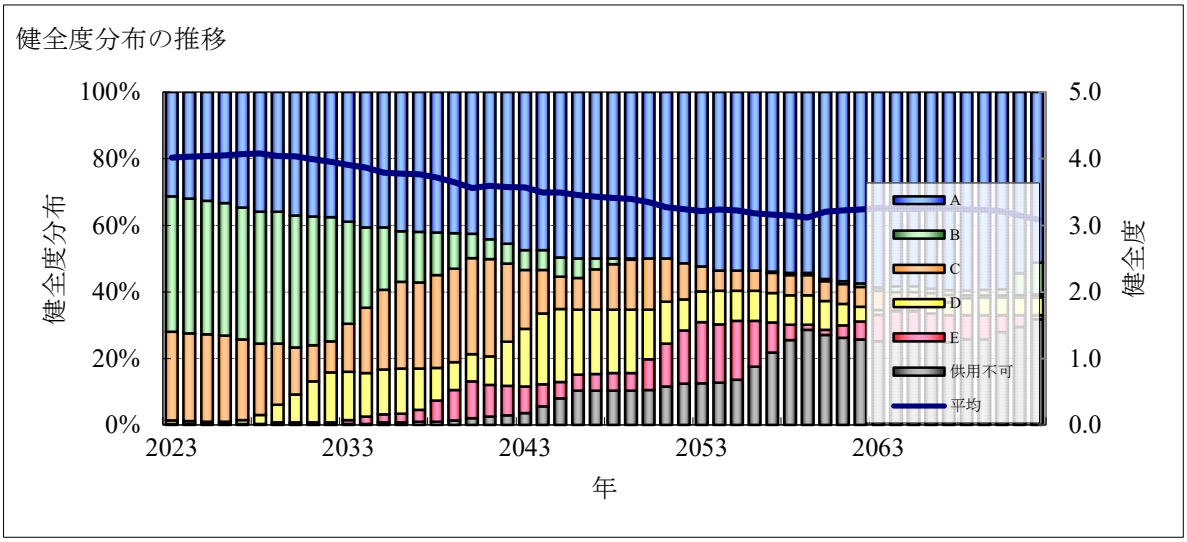
６．長寿命化修繕計画による効果

川俣町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する147橋について、年間の予算制約額を0.50億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が112億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が24億円となり、コスト縮減効果は88億円（78.6%減）となります。



また，計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し，道路の安全性及び信頼性が確保されます。



７．計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

１）計画策定担当部署
川俣町　建設水道課　tel：024-566-2111

２）意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学　工学部　　土木工学科　　教授　　岩城　一郎

【様式１－２】

５．対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：←→　対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期 R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	合計(千円)
問屋前橋	その他	問屋・津間線	13.6	1970	53	R2	Ⅳ			点検					点検			
岩倉橋	その他	廣畑・上岩倉線	11.4	1970	53	R1	Ⅲ	←→	点検					点検				16,896
								主部材：断面修復工、足場										
御輪橋	その他	鶴巻・田中線	10.1	1938	85	R1	Ⅲ		←→					点検				20,051
									主部材：断面修復工、溶接工、ひびわれ補修工、表面含浸工、足場									
泡吹地橋	その他	泡吹地線	11.4	1965	58	R4	Ⅲ			←→		点検					点検	18,300
										主部材：断面修復工、足場								
大平橋	1級	五百田中道線	17.1	1979	44	R1	Ⅱ	点検			←→		点検					28,709
											床版：ひび割れ補修 等							
行合道橋	1級	山木屋田代線	9.5	1972	51	R1	Ⅱ	点検				←→	点検					13,500
												主部材：ひび割れ補修 等						
道平橋	1級	遠西田代線	5.14	1980	43	R2	Ⅱ			点検					点検	←→		38,804
															床版：ひび割れ補修 等			
広瀬橋	その他	鶴東・鉄炮町線	16.7	1989	34	R1	Ⅱ	点検					←→					31,267
													主部材：ひび割れ補修 等					
南平橋	その他	下河原・北成沢線	56.2	1971	52	R2	Ⅱ			点検				←→	点検			85,562
														主部材：塗装 等				
鶴沢橋	その他	鶴東・鉄炮町線	5.4	1960	63	R1	Ⅱ	点検				←→	点検					4,404
												床版：ひび割れ補修 等						
長滝橋	その他	前平・越中田線	57.5	2002	21	R3	Ⅱ				点検					点検	←→	49,449
																主部材：塗装 等		
出付橋	2級	長滝若松線	11.9	1980	43	R1	Ⅱ	点検					点検					
大橋	1級	遠西田代線	20.6	1969	54	R1	Ⅱ	点検				←→	点検					16,470
												主部材：足場 等						
峨篭橋	2級	花塚後沢線	3.6	1980	43	R2	Ⅱ			点検					←→			5,136
															橋台：断面修復 等			
空窪橋	2級	峠線	4.7	1983	40	R2	Ⅱ			点検					点検			
樋ノ口橋	2級	桜新道線	6.5	1960	63	R1	Ⅱ	点検					←→					2,326
													橋台：ひび割れ補修 等					
楓橋	その他	古中道・諏訪線	15.4	1965	58	R2	Ⅱ			点検					点検			
眼鏡橋	その他	中島・壁沢線	11.4	1974	49	R2	Ⅱ			点検					点検			
堀坂橋	その他	八十刈・堀坂線	5.1	1965	58	R4	Ⅱ					点検					点検	
壁屋橋	その他	下河原・壁屋線	32.3	1973	50	R1	Ⅱ	点検					点検					
沼の入橋	その他	菅平・沼ノ入線	9.5	1970	53	R3	Ⅱ				点検				←→	点検		5,670
															橋台：断面修復 等			
成沢橋	その他	下河原・北成沢線	26.6	1977	46	R2	Ⅱ			点検					点検			
木の合木橋	その他	羽山向山・菅向線	7.5	1978	45	R3	Ⅱ				点検		←→			点検		6,803
													地覆：打換 等					
滝沢橋	その他	八幡・滝沢線	22.4	1977	46	R2	Ⅱ			点検					点検			
羽田橋	その他	界・舘ノ内線	21.5	1968	55	R1	Ⅱ	点検					点検					
梅の口橋	その他	反田・松ノ口線	16.2	1977	46	R2	Ⅱ			点検		←→			点検			15,545
												地覆：打換 等						
仲田橋	その他	宮田・桑保町線	16.1	1972	51	R1	Ⅱ	点検					点検					
道耕地橋	その他	反田・松ノ口線	18.5	1974	49	R2	Ⅱ			点検					点検			
糠戸内橋	その他	舘ノ山線	22.7	1992	31	R3	Ⅱ				点検					点検		
菅向橋	その他	菅平線	8.4	1970	53	R1	Ⅱ		点検				←→	点検				4,138
													橋台：断面修復 等					
五百田橋	その他	日和田・五百田線	7	1970	53	R2	Ⅱ			点検					点検	←→		4,558
																伸縮装置：取替(始端側) 等		
広畑橋	その他	上桜・仁井町線	12.6	1970	53	R2	Ⅱ			点検					点検	←→		3,466
																橋台：断面修復 等		
柏崎橋	その他	熊ノ宮・柏崎線	7.3	1970	53	R1	Ⅱ	点検					点検					
下中島1号橋	その他	油田・村社前線	6.1	1973	50	R3	Ⅱ				←→					点検	←→	5,875
											床版：塗装 等					橋台：断面修復 等		
赤坂橋	その他	大洪・大松平山線	12.1	1975	48	R1	Ⅱ		点検					点検				
七窪橋	その他	七窪団地線	25.8	1997	26	R1	Ⅱ	点検					←→					4,837
													伸縮装置：取替(始端側) 等					
熊の宮橋	その他	熊ノ宮・兎田線	8.4	1976	47	R1	Ⅱ	点検					点検					
橋本橋	その他	岸波・壁屋線	32.6	1977	46	R2	Ⅱ			点検					点検			
百目木橋	その他	南線	7.1	1978	45	R1	Ⅱ	点検					点検					
両国橋	その他	玉泉寺線	16.8	1989	34	R3	Ⅱ				点検					点検		
池ノ入橋	その他	中島・八幡前線	32.5	1977	46	R2	Ⅱ			点検					点検			
前平橋	その他	前平・小山道線	7.5	1970	53	R3	Ⅱ				点検					点検		

凡例 :◀―▶　対策を実施すべき時期を示す。

◀―▶下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
仲ノ内橋	その他	界・舘ノ内線	3.5	1972	51	R3	Ⅱ				点検					点検		
南橋	その他	南・鍛治平線	10.4	1973	50	R1	Ⅱ		点検					点検				
木ノ根橋	その他	五斗蒔田線	6.4	1970	53	R1	Ⅱ		点検					点検				
昌平橋	その他	日和田宮町線	8.7	1979	44	R3	Ⅱ				点検					点検		
房又橋	その他	犬石･入房又線	29	1976	47	R2	Ⅱ			点検					点検			
舘ノ内橋	その他	界・舘ノ内線	2	1970	53	R3	Ⅱ				点検					点検		
新湯橋	その他	仲ノ内・橋本線	3	1975	48	R2	Ⅱ			点検					点検			
旭橋	その他	舘ノ山線	19.3	2000	23	R3	Ⅱ				点検					点検		
山の坊橋	その他	廣町・宮ノ後線	10	1971	52	R1	Ⅱ	点検					点検					
京田橋	その他	細越･京田線	6.5	1972	51	R2	Ⅱ			点検					点検			
鶴巻橋	その他	鶴巻･三郷線	10.9	1993	30	R3	Ⅱ				点検					点検		
落合橋	その他	八幡･滝沢線	29.6	1993	30	R1	Ⅱ	点検					点検					
西田橋	その他	坊ノ入･小高屋敷線	5.7	1978	45	R4	Ⅱ				◀―▶	点検					点検	1,648
											地覆:打換 等							
下谷沢橋	その他	下谷沢・下焼切線	6.8	1961	62	R1	Ⅱ	点検					点検					
マミガ沢橋	その他	船形石・マミガ沢線	6	1994	29	R1	Ⅱ		点検					点検				
大日堂橋	その他	大日堂橋線	18.8	1983	40	R1	Ⅱ	点検					点検					
細畑東山橋	その他	細田･疣石山線	6.2	1970	53	R4	Ⅱ					点検					点検	
平橋	その他	平・西ノ平線	7.4	1983	40	R1	Ⅱ	点検					点検					
社前橋	その他	社前・五斗蒔田線	7.8	1997	26	R2	Ⅱ			点検					点検			
北古堂道内・南古堂道内2号線1号橋	その他	北古堂道内・南古堂道内2号線	9	1991	32	R4	Ⅲ					点検					点検	
梅ノ木平橋	その他	杉ノ内山･大畑線	5.5	1963	60	R4	Ⅲ					点検					点検	
小長石橋	その他	長大・ブシ沢線	2.8	1963	60	R4	Ⅲ					点検					点検	
才ノ神橋	その他	才ノ神・一本木沢山線	4.03	1980	43	R3	Ⅱ				点検					点検		
俎板倉橋	その他	大道・辺切線	2.9	1965	58	R4	Ⅱ					点検					点検	
下中島2号橋	その他	下中島・伊豆後線	4.97	1975	48	R3	Ⅱ				点検					点検		
光内橋	その他	柏葉・杉ノ内線	3.55	1975	48	R3	Ⅱ				点検					点検		
戸草前橋	その他	戸草前・八木山線	2.32	1994	29	R4	Ⅱ					点検					点検	
岩阿久橋	その他	和平・中島前線	4.3	1965	58	R4	Ⅱ					点検					点検	
後庵橋	その他	新中町・中道線	3.1	1965	58	R2	Ⅱ			点検					点検			
広越橋	その他	広畑・越田線	4	1970	53	R4	Ⅱ					点検					点検	
石川橋	その他	倉作線	3.26	1980	43	R2	Ⅱ			点検					点検			
山王橋	その他	鍛冶内・壱貫田線	2.32	1985	38	R3	Ⅱ				点検					点検		
寺前橋	その他	中屋敷・反田線	2.53	1993	30	R4	Ⅱ					点検					点検	
由口橋	その他	由口線	2.3	1996	27	R4	Ⅱ					点検					点検	
塚ノ越橋	その他	塚ノ越線	2.5	1965	58	R3	Ⅱ				点検					点検		
森ノ腰橋	その他	葭ヶ入・鋳屋場線	3.9	1970	53	R4	Ⅱ					点検					点検	
桑保橋	その他	葭ヶ入・鋳屋場線	3.9	1970	53	R4	Ⅱ					点検					点検	
杉ノ内橋	その他	杉ノ内線	3.7	1972	51	R3	Ⅱ				点検					点検		
津山橋	その他	津山・石立目山線	2.72	1998	25	R4	Ⅱ					点検					点検	
大黒前橋	その他	大黒前線	4.55	1975	48	R4	Ⅱ					点検					点検	
柳地内橋	その他	寺前・柳地内線	2.8	1977	46	R2	Ⅱ			点検					点検			
京田２号橋	その他	細越・笛田線	5.6	1977	46	R3	Ⅱ				点検					点検		
壱貫田橋	その他	田代内・山王線	2.3	1985	38	R2	Ⅱ			点検					点検			
五百田新橋	1級	五百田中道線	11.6	1960	63	R1	Ⅰ	点検					点検					

凡例 :◀―▶　対策を実施すべき時期を示す。

◀―▶下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
横大道橋	その他	茶畑山･長田山線	11.1	1993	30	R3	Ⅰ				点検					点検		
菅ノ又橋	1級	菅ノ又線	21.1	1976	47	R3	Ⅰ				点検					点検		
富川橋	その他	鶴東・鉄炮町線	5.8	1960	63	R3	Ⅰ				点検					点検		
茂地理橋	1級	遠西田代線	7.5	1970	53	R1	Ⅰ	点検					点検					
野馬畑橋	2級	大柴線	2.52	2008	15	R2	Ⅰ			点検					点検			
高根橋	2級	長滝若松線	13.4	1976	47	R2	Ⅰ			点検					点検			
地切橋	2級	八木線	16.4	1972	51	R3	Ⅰ				点検					点検		
向上橋	2級	桜新道線	16.8	1987	36	R2	Ⅰ			点検					点検			
下戸ノ内橋	1級	頭陀寺線	13.4	1990	33	R2	Ⅰ			点検					点検			
若松橋	2級	長滝若松線	7.6	1970	53	R3	Ⅰ				点検					点検		
女鹿久保橋	2級	長滝若松線	13	1983	40	R1	Ⅰ	点検					点検					
白鷺橋	その他	姥ヶ作・山ノ坊線	11.4	1988	35	R4	Ⅰ					点検					点検	
常泉寺橋	その他	中丁･寺前線	18.4	1976	47	R2	Ⅰ			点検					点検			
秋山橋	その他	岩田・芦ノ亦線	10.5	1983	40	R1	Ⅰ	点検					点検					
関ノ上橋	その他	落合･芳ヶノ作線	27.1	1994	29	R2	Ⅰ			点検					点検			
壁沢橋	その他	中島･壁沢線	17.3	1998	25	R3	Ⅰ				点検					点検		
和平橋	その他	大小町・入道線	8.8	1970	53	R1	Ⅰ		点検					点検				
茶畑橋	その他	壱貫田・ミノキ畑線	7.8	1970	53	R1	Ⅰ		点検					点検	伸縮装置:取替(始端側) 等			3,070
五斗蒔田橋	その他	寺山・五斗蒔田線	10.8	1973	50	R1	Ⅰ		点検					点検				
とみのと橋	その他	八反田・熊ノ宮線	10.4	1977	46	R2	Ⅰ			点検					点検			
仲田橋	その他	井戸上・仲田線	11.5	1983	40	R1	Ⅰ	点検					点検					
一本橋	その他	表屋敷・仲田線	13.2	1985	38	R1	Ⅰ	点検					点検					
畝歩内橋	その他	椚ノ内･粕内前線	18.3	1970	53	R3	Ⅰ				点検					点検		
椚下橋	その他	川面線	7.6	1970	53	R3	Ⅰ				点検				伸縮装置:取替(始端側) 等			2,791
倉ヶ作橋	その他	倉作線	19.1	1977	46	R2	Ⅰ			点検					点検			
八反田橋	その他	八反田･瓦町線	16.7	1988	35	R3	Ⅰ				点検					点検		
前平橋	その他	前平･越中田線	15.7	1984	39	R2	Ⅰ			点検					点検			
村社前橋	その他	馬場･風呂ヶ前線	27.8	1998	25	R1	Ⅰ	点検					点検					
大松平橋	その他	大洪・大松平山線	13.8	1974	49	R3	Ⅰ				点検					点検		
連環橋	その他	瓦町･五百田線	16.7	1986	37	R1	Ⅰ	点検					点検					
的板田橋	その他	的板田線	8.8	1993	30	R1	Ⅰ	点検					点検					
越田橋	その他	姥ヶ作・阿弥陀窪線	14.2	1990	33	R3	Ⅰ				点検					点検		
日和田橋	その他	日和田･中丁線	16.8	1988	35	R3	Ⅰ				点検					点検		
関ノ上二号橋	その他	壁沢･七窪線	25.5	1995	28	R2	Ⅰ			点検					点検			
舘ノ腰橋	その他	川原田線	19.3	2015	8	R3	Ⅰ				点検					点検		
笛吹田橋	その他	広畑・塚ノ越線	5.2	1965	58	R4	Ⅰ					点検					点検	
一反田橋	その他	小高屋敷・暮ノ内線	7.4	1977	46	R3	Ⅰ				点検					点検		
宮の後橋	その他	宮作・寺屋敷線	12.7	1971	52	R1	Ⅰ	点検					点検					
小谷野沢橋	その他	葭ヶ入・鋳屋場線	6.2	1970	53	R1	Ⅰ		点検					点検				
住吉橋	その他	八反田・五百田線	6.4	1970	53	R2	Ⅰ			点検					点検			
中道橋	その他	岩下・東大柴線	7	1987	36	R3	Ⅰ				点検					点検		
ふれあい橋	その他	樋ノ口・川端線	42.91	2004	19	R4	Ⅰ					点検					点検	
中山橋	その他	小神秋山線	5.6	1975	48	R2	Ⅰ				県が点検等実施予定							
本町橋	その他	中丁・本町線	3.44	1945	78	R2	Ⅰ			点検					点検			

凡例 :◀―▶　対策を実施すべき時期を示す。

◀―▶下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
八幡橋	その他	塚ノ越線	3.4	1965	58	R3	Ⅰ				点検					点検		
荒井ノ内橋	その他	荒井ノ内・川前線	2.4	1970	53	R3	Ⅰ				点検					点検		
空田橋	その他	吉吾線	3.5	1978	45	R2	Ⅰ			点検					点検			
祭田橋	その他	才ノ神・一本木沢山線	3.47	1980	43	R3	Ⅰ				点検					点検		
吉吾橋	その他	吉吾・長戸線	3.5	1990	33	R3	Ⅰ				点検					点検		
田代前橋	その他	神廻・立石線	2.42	1991	32	R4	Ⅰ					点検					点検	
水境橋	その他	向出山・広久保山線	3.66	1993	30	R4	Ⅰ					点検					点検	
社前橋	その他	社前･向木ノ根山線	3.5	1975	48	H29	Ⅰ					点検					点検	
川前橋	その他	荒井ノ内・川前線	3.2	1970	53	R3	Ⅰ				点検					点検		
中島橋	その他	中島・諏訪線	3.6	1978	45	R2	Ⅰ			点検					点検			
北成沢橋	その他	北成沢線	4.37	2018	5	R4	Ⅰ					点検					点検	
曽利田橋	その他	荒井ノ内・仲平線	2.31	1991	32	R3	Ⅰ				点検					点検		
北古堂道内・南古堂道内線1号橋	その他	北古堂道内・南古堂道内線	12.4	2022	1	R4	Ⅰ					点検					点検	
細田橋	その他	仲ノ内･梅の口線	17.4	1981	42	R1	Ⅰ	点検					点検					
前壁沢橋	その他	中島・諏訪線	16.1	2017	6	R4	Ⅰ					点検					点検	
細越橋	その他	新関前・関袋線	16.6	2018	5	R4	Ⅰ					点検					点検	
赤坂橋	その他	川端線	8.1	1936	87	R2	Ⅰ			点検					点検			
合　計　（千円）								16,896	20,051	18,300	35,718	49,969	49,372	49,362	49,797	49,897	49,963	

優先順位一覧 制約0.50億円

:健全度E(5)	:健全度B(2)	
:健全度D(4)	:健全度A(1)	
:健全度C(3)		

番号	橋梁名	諸元									重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命(年)	今後50年補修費用		
		橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計(A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別	健全度ランク	(A+100-B)				緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート特異形式	評価③		今後5年(百万円)	残り(百万円)	合計(百万円)
0077	問屋前橋	13.60	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	0.0	0.0	0.0	主部材	E(5)	105.0	1	4	C	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0065	岩倉橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	45.0	10.0	30.0	28.3	下部工	D(4)	76.7	2(4)	7	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	16.9	0.0	16.9
0053	御輪橋	10.10	1	RC橋	RC T桁	5.50	1938	85	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	90.0	3	7	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	20.1	13.7	33.8
0146	泡吹地橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	3.70	1965	58	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	35.0	0.0	11.7	主部材	D(4)	93.3	4(2)	7	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	42	18.3	64.8	83.1
0001	大平橋	17.10	1	PC橋	プレテン床版	5.35	1979	44	第1次確	1級	10	5	5	10	10	0	40	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	80.0	5	8	S	○	○	○	3	S	–	–	–	–	B	–	28.7	8.3	37.0
0041	行合道橋	9.50	1	PC橋	プレテン床版	4.50	1972	51	第2次確	1級	5	0	5	10	0	0	20	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	96.7	6(9)	9	A	○	○	–	2	A	–	–	–	–	B	49	13.6	4.9	18.5
0090	道平橋	5.14	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.40	1980	43	第1次確	1級	10	0	10	10	10	0	40	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	80.0	7(6)	8	S	○	○	○	3	S	–	–	–	○	C	–	0.0	75.9	75.9
0012	広瀬橋	16.70	1	PC橋	プレテンT桁	6.50	1989	34	第1次確	その他	10	5	10	0	10	0	35	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	111.7	8(7)	9	A	○	–	○	2	A	–	–	–	–	B	50以上	0.0	67.4	67.4
0019	南平橋	56.20	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1971	52	–	その他	0	10	10	0	10	0	30	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	96.7	9(8)	9	A	–	–	○	1	B	–	–	–	–	B	48	0.0	126.4	126.4
0048	鶴沢橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	6.60	1960	63	第1次確	その他	10	0	10	0	10	0	30	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	80.0	10	9	A	○	–	○	2	A	–	–	–	–	B	50以上	4.4	17.4	21.8
0026	長滝橋	57.50	1	鋼溶接橋	トラス橋	7.00	2002	21	–	その他	0	10	10	0	0	0	20	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	73.3	11	9	A	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	137.4	137.4
0044	出付橋	11.90	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1980	43	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	68.3	12	9	A	○	○	–	2	A	–	–	–	–	B	50以上	0.0	34.8	34.8
0002	大橋	20.60	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1969	54	第2次確	1級	5	5	5	10	0	0	25	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	66.7	13	9	A	○	○	–	2	A	–	–	–	–	B	46	16.5	9.4	25.9
0092	峨竜橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.90	1980	43	第1次確	2級	10	0	5	5	0	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	14	9	A	○	○	–	2	A	–	–	○	–	C	50以上	0.0	8.7	8.7
0091	空窪橋	4.70	1	RC橋	RC 中実床版	4.30	1983	40	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	55.0	15	9	A	○	○	–	2	A	–	–	○	–	C	50以上	0.0	4.4	4.4
0042	樋ノ口橋	6.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.80	1960	63	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	16	9	A	○	○	–	2	A	–	–	–	–	B	50以上	0.0	19.4	19.4
0021	楓橋	15.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	5.00	1965	58	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	17(19)	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	42	0.0	60.8	60.8
0087	眼鏡橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1974	49	–	その他	0	0	10	0	10	0	20	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	96.7	18(17)	10	B	–	–	○	1	B	–	–	–	–	B	11	0.0	100.3	100.3
0131	堀坂橋	5.10	1	PC橋	その他(PC橋)	7.40	1965	58	–	その他	0	0	10	0	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	19(18)	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	42	0.0	47.1	47.1
0017	壁屋橋	32.30	2	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1973	50	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	15.0	25.0	40.0	26.7	主部材	C(3)	83.3	20	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	258.1	258.1
0078	沼の入橋	9.50	1	PC橋	プレテン床版	3.20	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	21	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	0.0	21.9	21.9
0020	成沢橋	26.60	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1977	46	–	その他	0	5	10	0	10	0	25	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	81.7	22	10	B	–	–	○	1	B	–	–	–	–	B	14	0.0	450.9	450.9
0080	木の合木橋	7.50	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1978	45	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	23	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	15	0.0	48.6	48.6
0024	滝沢橋	22.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1977	46	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	76.7	24	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	14	0.0	133.2	133.2
0011	羽田橋	21.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	6.00	1968	55	–	その他	0	5	10	0	10	0	25	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	73.3	25	10	B	–	–	○	1	B	–	–	–	–	B	45	0.0	36.2	36.2
0027	梅の口橋	16.20	1	PC橋	プレテン中空床版	3.00	1977	46	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	73.3	26	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	14	15.5	75.7	91.3
0029	仲田橋	16.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1972	51	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	71.7	27	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	49	0.0	0.0	0.0
0028	道耕地橋	18.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1974	49	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	71.7	28	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	11	0.0	0.0	0.0
0035	糠戸内橋	22.70	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.50	1992	31	第1次確	その他	10	5	10	0	0	0	25	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	71.7	29	10	B	○	–	–	1	B	–	–	–	–	B	29	0.0	0.0	0.0
0079	菅向橋	8.40	1	PC橋	プレテン床版	3.10	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	68.3	30	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	0.0	11.5	11.5
0084	五百田橋	7.00	1	PC橋	プレテン床版	4.10	1970	53	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	68.3	31	10	B	○	–	–	1	B	–	–	–	–	B	47	0.0	18.6	18.6
0086	広畑橋	12.60	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	66.7	32	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	0.0	3.6	3.6
0050	柏崎橋	7.30	1	PC橋	PC桁橋(その他)	0.00	1970	53	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	66.7	33	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	0.0	2.7	2.7
0104	下中島1号橋	6.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	1.98	1973	50	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	63.3	34	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	5.4	2.8	8.2
0075	赤坂橋	12.10	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1975	48	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	61.7	35	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	12	0.0	0.0	0.0
0009	七窪橋	25.80	1	PC橋	ポステン中空床版	4.00	1997	26	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	36	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	34	0.0	41.4	41.4
0051	熊の宮橋	8.40	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1976	47	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	58.3	37	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	13	0.0	50.9	50.9
0016	橋本橋	32.60	2	PC橋	プレテンT桁	3.00	1977	46	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	35.0	55.0	65.0	51.7	主部材	C(3)	58.3	38	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	14	0.0	0.0	0.0
0060	百目木橋	7.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1978	45	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	58.3	39	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	15	0.0	0.0	0.0
0033	両国橋	16.80	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1989	34	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	58.3	40	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	26	0.0	0.0	0.0
0015	池ノ入橋	32.50	2	PC橋	プレテンT桁	4.00	1977	46	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	56.7	41	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	14	0.0	0.0	0.0
0069	前平橋	7.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	42	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	22.2	22.2
0106	仲ノ内橋	3.50	1	RC橋	RC 中実床版	8.00	1972	51	–	その他	0	0	10	0	10	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	43	10	B	–	–	○	1	B	–	–	○	–	C	50以上	0.0	12.0	12.0
0068	南橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1973	50	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	44	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	24.8	24.8
0073	木ノ根橋	6.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	53.3	45	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	47	0.0	5.1	5.1
0082	昌平橋	8.70	1	PC橋	プレテン床版	2.50	1979	44	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	53.3	46	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	16	0.0	20.9	20.9
0014	房又橋	29.00	2	PC橋	プレテンT桁	3.00	1976	47	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	45.0	40.0	90.0	58.3	主部材	C(3)	51.7	47	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	13	0.0	0.0	0.0
0107	舘ノ内橋	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.55	1970	53	–	その他	0	0	5	0	10	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	48	10	B	–	–	○	1	B	–	–	○	–	C	50以上	0.0	6.2	6.2
0099	新湯橋	3.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.40	1975	48	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	49	10	B	○	–	–	1	B	–	–	○	–	C	12	0.0	15.7	15.7
0036	旭橋	19.30	1	PC橋	プレテンT桁	7.00	2000	23	–	その他	0	5	10	0	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	50	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	37	0.0	0.0	0.0
0055	山の坊橋	10.00	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1971	52	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	46.7	51	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	48	0.0	0.0	0.0
0103	京田橋	6.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.06	1972	51	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	45.0	80.0	45.0	56.7	床版	C(3)	43.3	52	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	49	0.0	13.2	13.2
0118	鶴巻橋	10.90	1	PC橋	その他(PC橋)	1.76	1993	30	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	45.0	80.0	45.0	56.7	床版	C(3)	43.3	53	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	30	0.0	0.0	0.0
0023	落合橋	29.60	1	PC橋	ポステン中空床版	4.00	1993	30	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	43.3	54	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	30	0.0	0.0	0.0
0110	西田橋	5.70	1	PC橋	その他(PC橋)	1.80	1978	45	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	41.7	55	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	15	1.6	10.9	12.5
0064	下谷沢橋	6.80	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1961	62	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	56	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	23.1	23.1
0071	マミガ沢橋	6.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	4.10	1994	29	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	38.3	57	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	31	0.0	0.0	0.0
0006	大日堂橋	18.80	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1983	40	–	その他	0	5	5	0	0	0	10	50.0	80.0	90.0	73.3	主部材	C(3)	36.7	58	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	20	0.0	0.0	0.0
0141	細畑東山橋	6.20	1	RC橋	RC 中実床版	4.05	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	35.0	59	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0047	平橋	7.40	1	PC橋	PC桁橋(その他)	3.00	1983	40	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	35.0	60	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	20	0.0	0.0	0.0
0081	社前橋	7.80	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1997	26	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	25.0	61	10	B	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	34	0.0	0.0	0.0
0145	北古堂道内・南古堂道内2号線1号橋	9.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	4.00	1991	32	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	90.0	62	経	C	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0114	梅ノ木平橋	5.50	1	木橋	その他(木橋)	2.00	1963	60	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	55.0	10.0	21.7	主部材	D(4)	78.3	63	経	C	–	–	–	0	C	–	–	–	–	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0125	小長石橋	2.80	1	木橋	その他(木橋)	3.40	1963	60	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	15.0	20.0	85.0	40.0	主部材	D(4)	65.0	64	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0111	才ノ神橋	4.03	2	RC橋	RC 中実床版	4.50	1980	43	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	85.0	50.0	75.0	70.0	下部工	C(3)	30.0	65(83)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	3.6	3.6
0132	俎板倉橋	2.90	1	RC橋	RC 中実床版	2.10	1965	58	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	50.0	66(65)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	2.5	2.5
0105	下中島2号橋	4.97	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.50	1975	48	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	50.0	67(66)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	9.3	9.3
0113	光内橋	3.55	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1975	48	–	その他	0	0	0	0	0	0	0	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	50.0	68(67)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	3.9	3.9
0139	戸草前橋	2.32	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.00	1994	29	–	その他	0	0	10	0	0	0	10	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	50.0	69(68)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0127	岩阿久橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1965	58	–	その他	0	0	10	0	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	70(69)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	2.5	2.5
0098	後庵橋	3.10	1	RC橋	RC 中実床版	7.30	1965	58	–	その他	0	0	10	0	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	71(70)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0124	広越橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	72(71)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0095	石川橋	3.26	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.80	1980	43	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	73(72)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0108	山王橋	2.32	1	RC橋	RC床版橋(その他)	10.55	1985	38	–	その他	0	0	10	0	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	74(73)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0128	寺前橋	2.53	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1993	30	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	75(74)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0135	由口橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.20	1996	27	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	76(75)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0122	塚ノ越橋	2.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1965	58	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	77(76)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	4.8	4.8
0133	森ノ腰橋	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	78(77)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	2.7	2.7
0134	桑保橋	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1970	53	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	79(78)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	3.1	3.1
0116	杉ノ内橋	3.70	1	RC橋	RC 中実床版	3.65	1972	51	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	80(79)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0137	津山橋	2.72	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.00	1998	25	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	81(80)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	○	C	50以上	0.0	3.8	3.8
0140	大黒前橋	4.55	1	RC橋	RC桁橋(その他)	4.10	1975	48	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	38.3	82(81)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	3.4	3.4
0101	柳地内橋	2.80	1	PC橋	PC桁橋(その他)	4.50	1977	46	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	38.3	83(82)	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	1.7	1.7
0109	京田2号橋	5.60	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.20	1977	46	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	35.0	84	経	C	–	–	–	0	C	–	–	–	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0102	壱貫田橋	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	5.17	1985	38	–	その他	0	0	5	0	0	0	5	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	25.0	85	経	C	–	–	–	0	C	–	–	○	–	C	50以上	0.0	1.7	1.7

：健全度E(5)　：健全度B(2)
：健全度D(4)　：健全度A(1)
：健全度C(3)

優先順位一覧　制約0.50億円

番号	橋梁名	諸元									重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100−B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳									余寿命 (年)	今後50年補修費用		
		橋長 (m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計 (A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均 (B)	部材種別	健全度ランク					緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート特異形式	評価③		今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0038	五百田新橋	11.60	1	RC橋	RC　T桁	6.00	1960	63	第2次確	1級	5	0	10	10	10	0	35	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	73.3	86	経	S	○	○	○	3	S	−	−	−	−	B	−	0.0	0.0	0.0
0117	横大道橋	11.10	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.00	1993	30	−	その他	0	0	10	0	0	10	20	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	45.0	87	経	S	−	−	−	0	C	○	S	−	○	C	−	0.0	0.0	0.0
0003	菅ノ又橋	21.10	1	PC橋	プレテンT桁	5.60	1976	47	第2次確	1級	5	5	5	10	0	0	25	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	63.3	88	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0049	富川橋	5.80	1	RC橋	RC　中実床版	6.60	1960	63	第1次確	その他	10	0	10	0	10	0	30	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	55.0	89	経	A	○	−	○	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0039	茂地理橋	7.50	1	RC橋	RC　中実床版	4.20	1970	53	第2次確	1級	5	0	5	10	0	0	20	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	45.0	90	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0093	野馬畑橋	2.52	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.65	2008	15	第2次確	2級	5	0	10	5	0	0	20	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	45.0	91	経	A	○	○	−	2	A	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0043	高根橋	13.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1976	47	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	43.3	92	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0005	地切橋	16.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	6.00	1972	51	第1次確	2級	10	5	10	5	0	0	30	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	40.0	93	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	49	0.0	0.8	0.8
0004	向上橋	16.80	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1987	36	第2次確	2級	5	5	5	5	0	0	20	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	33.3	94	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0040	下戸ノ内橋	13.40	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1990	33	第2次確	1級	5	0	5	10	0	0	20	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	30.0	95	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0046	若松橋	7.60	1	RC橋	RC　中実床版	5.00	1970	53	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	25.0	96	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0045	女鹿久保橋	13.00	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1983	40	第2次確	2級	5	0	5	5	0	0	15	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	25.0	97	経	A	○	○	−	2	A	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0143	白鷺橋	11.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1988	35	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	53.3	98	経	B	○	−	−	1	B	−	−	−	−	B	25	0.0	0.0	0.0
0007	常泉寺橋	18.40	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1976	47	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	48.3	99	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	13	0.0	0.0	0.0
0061	秋山橋	10.50	1	PC橋	プレテン床版	6.00	1983	40	−	その他	0	0	10	0	0	0	10	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	48.3	100	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	20	0.0	0.0	0.0
0022	関ノ上橋	27.10	1	PC橋	ポステン中空床版	4.00	1994	29	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	48.3	101	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	31	0.0	0.0	0.0
0037	壁沢橋	17.30	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1998	25	−	その他	0	5	10	0	10	0	25	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	48.3	102	経	B	−	−	○	1	B	−	−	−	−	B	35	0.0	0.0	0.0
0066	和平橋	8.80	1	RC橋	RC　T桁	4.00	1970	53	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	103	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0067	茶畑橋	7.80	1	RC橋	RC　T桁	3.00	1970	53	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	104	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	3.1	3.1
0074	五斗蒔田橋	10.80	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1973	50	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	105	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0085	とみのと橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1977	46	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	106	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	14	0.0	0.0	0.0
0058	仲田橋	11.50	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1983	40	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	107	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	20	0.0	0.0	0.0
0057	一本橋	13.20	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1985	38	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	108	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	22	0.0	0.0	0.0
0013	畝歩内橋	18.30	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1970	53	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	38.3	109	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	47	0.0	0.0	0.0
0059	椚下橋	7.60	1	PC橋	プレテン床版	2.70	1970	53	−	その他	0	0	0	0	0	0	0	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	38.3	110	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	47	0.0	3.2	3.2
0008	倉ヶ作橋	19.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.60	1977	46	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	38.3	111	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	14	0.0	0.0	0.0
0032	八反田橋	16.70	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1988	35	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	112	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	25	0.0	0.0	0.0
0025	前平橋	15.70	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1984	39	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	113	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	21	0.0	0.0	0.0
0018	村社前橋	27.80	1	PC橋	ポステン中空床版	5.00	1998	25	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	114	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	35	0.0	0.0	0.0
0076	大松平橋	13.80	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1974	49	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	115	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	11	0.0	0.0	0.0
0030	連環橋	16.70	1	PC橋	プレテン中空床版	4.50	1986	37	第1次確	その他	10	5	5	0	0	0	20	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	30.0	116	経	B	○	−	−	1	B	−	−	−	−	B	23	0.0	0.0	0.0
0063	的板田橋	8.80	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1993	30	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	117	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	30	0.0	0.0	0.0
0056	越田橋	14.20	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1990	33	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	28.3	118	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	27	0.0	0.0	0.0
0031	日和田橋	16.80	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1988	35	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	25.0	119	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	25	0.0	0.0	0.0
0010	関ノ上二号橋	25.50	1	PC橋	ポステン中空床版	3.00	1995	28	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	120	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	32	0.0	0.0	0.0
0097	舘ノ腰橋	19.30	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	2015	8	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	121	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0126	笛吹田橋	5.20	1	RC橋	RC　中実床版	6.20	1965	58	−	その他	0	0	10	0	0	0	10	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	20.0	122	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	42	0.0	0.0	0.0
0052	一反田橋	7.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1977	46	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	20.0	123	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	14	0.0	0.0	0.0
0054	宮の後橋	12.70	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1971	52	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	18.3	124	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	48	0.0	3.5	3.5
0070	小谷野沢橋	6.20	1	RC橋	RC　中実床版	3.60	1970	53	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	125	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0083	住吉橋	6.40	1	PC橋	プレテン床版	4.43	1970	53	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	126	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0072	中道橋	7.00	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1987	36	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	127	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	24	0.0	0.0	0.0
0142	ふれあい橋	42.91	3	PC橋	PC　床版橋その他	0.00	2004	19	−	その他	0	5	0	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	128	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	41	0.0	0.0	0.0
0089	中山橋	5.60	1	RC橋	RC　中実床版	8.20	1975	48	−	その他	0	0	10	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	129	経	C	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0094	本町橋	3.44	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.20	1945	78	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	130	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0123	八幡橋	3.40	1	RC橋	RC　中実床版	4.78	1965	58	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	131	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0120	荒井ノ内橋	2.40	1	RC橋	RC　中実床版	3.50	1970	53	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	132	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	1.2	1.2
0100	空田橋	3.50	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.50	1978	45	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	133	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0112	祭田橋	3.47	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1980	43	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	134	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0115	吉吾橋	3.50	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1990	33	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	135	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0130	田代前橋	2.42	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1991	32	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	136	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	1.7	1.7
0138	水境橋	3.66	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.00	1993	30	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	137	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0136	社前橋	3.50	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1975	48	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	28.3	138	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	2.3	2.3
0121	川前橋	3.20	1	RC橋	RC　中実床版	2.15	1970	53	−	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	139	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	2.8	2.8
0096	中島橋	3.60	1	RC橋	RC　中実床版	2.10	1978	45	−	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	140	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	2.4	2.4
0129	北成沢橋	4.37	1	H型鋼	H形鋼(非合成)	3.20	2018	5	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	18.3	141	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	−	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0119	曽利田橋	2.31	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	0.00	1991	32	−	その他	0	0	0	0	0	0	0	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	15.0	142	経	C	−	−	−	0	C	−	−	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0144	北古堂道内・南古堂道内線1号橋	12.40	2	PC橋	プレテン中空床版	3.30	2022	1	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	15.0	143	経	B	○	−	−	1	B	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0034	細田橋	17.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1981	42	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	10.0	144	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	18	0.0	0.0	0.0
0147	前壁沢橋	16.10	1	PC橋	プレテン中空床版	3.70	2017	6	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	10.0	145	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0062	細越橋	16.60	1	PC橋	プレテン中空床版	4.00	2018	5	−	その他	0	5	5	0	0	0	10	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	10.0	146	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0088	赤坂橋	8.10	1	RC橋	RC　T桁	4.50	1936	87	−	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	147	経	B	−	−	−	0	C	−	−	−	−	B	50以上	0.0	0.0	0.0